

# 令和6年度 三珠中学校 研究の方向性について

## 1 研究主題

「主体的に課題を解決し、表現する生徒の育成」  
～教師一人一人の授業力向上を通して～

## 2 主題設定の理由

本校では、一昨年度は「心豊かで、確かな学力をもち、たくましく活動する生徒の育成」を研究主題とし、サブテーマである「～ICTを有効活用し、主体的に考え議論する道徳科の工夫～」に重点を置き、3年間の道徳科の研究の成果を活かしながら、道徳科の授業の中でICTの有効的な活用方法について検証を行った。道徳の授業づくりを通し、研究の目的はある程度達成できたと考えるが、依然として「生徒が主体的に授業に取り組んだり、課題を解決したり、表現をしたりする場面では、教員が生徒の主体性を仕組む工夫や、場面設定が授業の中で十分ではない」という課題が挙げられた。また、「教員間でICTを活用できる力と活用する機会に差があること」、「ICTを使う場面や使い方を精査する必要があること」という課題も挙げられた。そのため、昨年度はこれら3つの課題へのアプローチを通して、研究主題「主体的に課題を解決し、表現する生徒の育成」に迫るために、「ICTを効果的に活用した授業づくり」に焦点を当てた研究を行った。

昨年度までの研究で、教師のICT活用の機会が増え、教科に応じた活用の仕方についても理解を深めることができた。その一方で、GIGAスクール構想のもとタブレットをはじめとするICTが使われるようになってから数年が経ち、授業の中でICTを使うことは日常的なものとなっており、2年間の研究において一定の成果を収めることができた。そこで今年度は「ICTは日常的に活用される一つのツール」として位置づけ、研究のテーマに含むことはせず、新たな視点をもって研究を行うという方向性を確認した。

授業の中でICTを活用することは、日常的なものとなってきている。その上で私たち教師に普遍的に求められる力として授業力向上が挙げられる。授業力向上のために、これまでの研究の成果をもとにそれぞれが教科指導について授業研究を深め続けるとともに、他者の授業から展開の仕方、言葉のかけ方、発問の仕方などを学び合い、今の時代における授業力の向上を図ることができると良いと考える。また、令和の日本型学校教育として「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」についての考え方を教師一人一人が学び、授業の中でどのように仕組むことができるのかを考え、実践していくことが必要だと考える。そして、その結果として、主体的に課題を解決できる生徒、主体的に表現することができる生徒の育成が実現できると良いと考える。

以上から、今年度の研究主題を「主体的に課題を解決し、表現する生徒の育成」とし、それを実現するための手立てとして、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」について学びながら、それぞれの実践の中で教師の授業力向上に取り組むこととした。

今年度は、最新の教育課題を学びながら、教職員の授業力向上に重点を置き、研究主題に近づきたいと考える。

### 3 研究仮説

これまでの研究の積み上げのもとに、教師一人一人が「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の観点から授業力の向上を図ることで、生徒の興味や関心を惹く授業や、生徒一人一人の学びを引き出せる授業をつくることができる。このことにより、生徒が興味関心をもって主体的に課題に取り組むようになり、生徒の課題解決能力や表現力を育むことができるであろう。

### 4 研究の内容

#### (1) 授業づくり

- ① 全職員で最新の教育課題を学ぶ。
- ② 一人一人が授業実践をすること、また他の教員の授業を観察することで自分の授業力向上に活かす。

#### (2) 職員の授業力の向上

- ① 職員が授業を見あい、他の教員の授業から学ぶ機会を設定する。
- ② 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」についての学習会を行う。

#### (3) 成果の検証

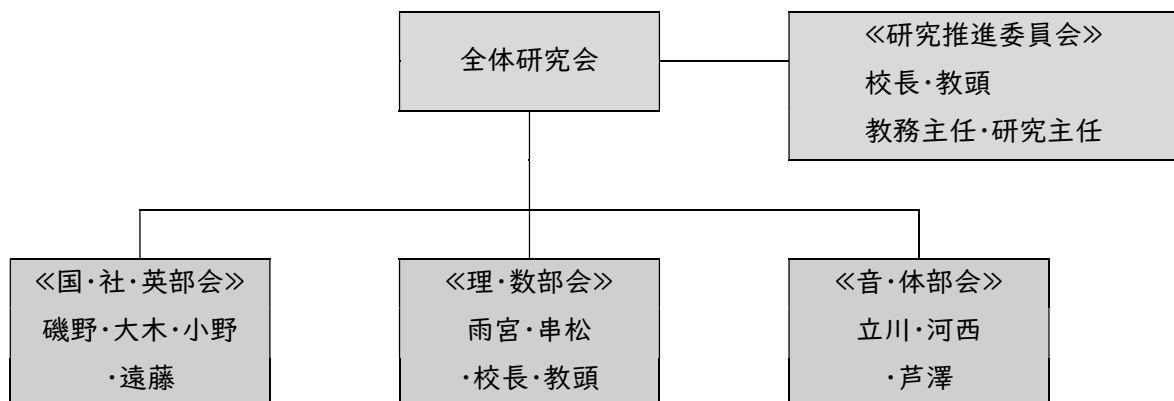
- ① 授業実践後の研究会の実施
- ② 研究のまとめアンケートにおいて、校内研究の充実度 8 割を目指す。

### 5 研究の方法

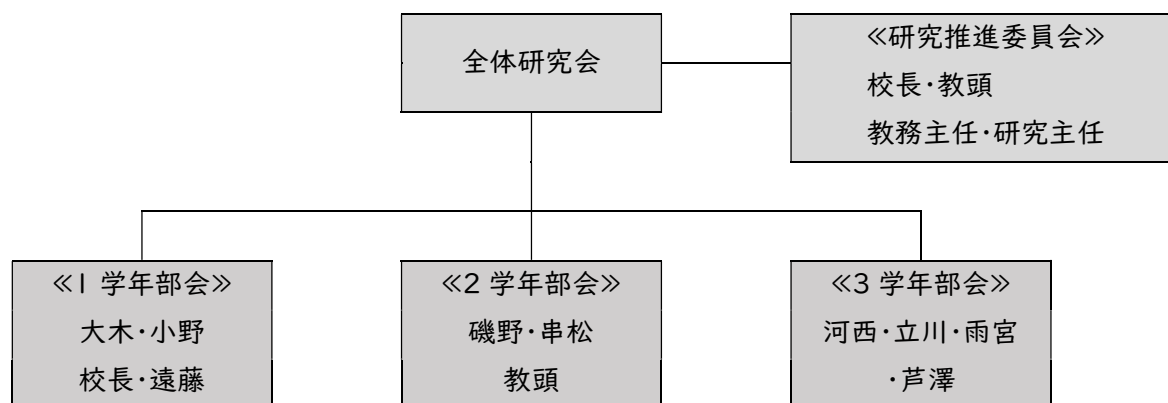
- (1) 毎月(7, 12, 3月を除いた)1回程度の研究日を設定し、計画的に研究を進める。
- (2) 協働的な研究体制のもと、全職員で研究を推進する。
- (3) 必要に応じて研究推進委員会を開き、企画・原案作成を行う。
- (4) 講師の招請を行い、個別最適な学びと協働的な学びの授業づくりについて学ぶ。研究授業の際は、指導・助言をいただく。
- (5) 個別最適な学びと協働的な学びの授業づくりに関する文献や資料を収集・活用し、理論に基づいた実践を行う。

### 6 研究組織

<教科別グループ>



<学年別グループ>



7 研究計画

回	月日	研究会の内容	備考
1	4月15日(月)	研究の概要 ・前年度の経過の確認 ・今年度の方向性の確認 研究主題, 研究の方法と内容, 研究計画の決定	
2	5月22日(水)	研修動画で学ぶ 令和の日本型学校教育 個別最適な学びと協働的な学びを実現する ICT を活用した 授業づくり	山梨大学教育学部 附属教育実践総合 センター
3	6月20日(水)	センター特別研修会 I 「個別最適な学び」と「協働的な学 び」の一体的な充実に向けた学級経営についての環流報告	総合教育センター 特別研修
4	8月26日(月) ※変更の可能性 有り	学習会 ・個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実について (特別支援教育についてを含む)	講師(校長先生)
5	9月25日(水)	DVD 教材から学ぶ 『学校で配慮と支援が必要な LGBTQ+ の子どもたち』	
6	10月28日(月)	研究授業(道徳科 大木先生)	指導主事招請
7	12月4日(水)	授業交流を終えての研究会・意見交流会	
8	1月27日(月)	研究のまとめについて ・研究のまとめアンケートについて ・研究紀要について	
9	2月17日(月)	研究のまとめと来年度の方向性 ・今年度の研究の成果と課題 ・本年度のまとめと来年度の方向性	